

青い森鉄道利活用アクション事業  
業務完了報告書

【業務名】

青い森鉄道利活用アクション事業

「平内 青森の『へそめぐり』～まるごと平内～」



平成22年1月

小 湊 商 店 会

【 目 次 】

1	はじめに	P1
2	取組の企画	P2
3	取組の実施状況	P5
4	取組の検証	P10
5	取組の検証を踏まえた展開	P19
6	終わりに	P21



## 1 はじめに

平内町は、美しい海と山に囲まれた豊かな自然環境にあり、浅虫夏泊県立自然公園や夜越山森林公園を抱え、県内有数の観光地であります。基幹産業としては養殖ホタテが盛んであり、その生産量は日本で「ホタテの町」として知られております。

小湊商店会は、昭和 50 年に設立し、会員は平内町地域で小売業・サービス業等を営む事業所等であり、商店街の活性化を図ることを目的とする任意団体であります。中心市街地商店街は「小湊商店街」と呼ばれ近くに JR 小湊駅があり交通の利便性にも恵まれております。

本会では、会員事業所で利用できる共通商品券の発行や年 2 回の合同売出等を実施しております。その他に、毎月第一・第三土曜日には「わの市」という『市』を駅前の旧製材所にて開催しております。

そして、この会場は JR 小湊駅の直近くにあり、我々としても何とかして鉄道利用者を取り込んで盛り上げていきたいということは以前からの課題でありました。

まさに、「青い森鉄道が元気になれば、地域も元気になる」同じ想いでありました。

そこで、新幹線開業を控えていることも踏まえ、鉄道を利用した観光客の観光拠点広場として「わの市」をフルに活用し魅力向上を図るとともに、観光ビジネスモデルの思索と位置付け実施することと致しました。

## 2 取組の企画

### (1) 取組の企画・立案

時期	会議等	内容
5月下旬～	町行政担当との打ち合わせ	コアメンバーで、事業実施について協議
6月12日	商店会役員会 「わの市」出店者合同会議	本事業についての説明 事業計画について説明
6月16日	事業説明会・意見交換会 (平内町商工会館)	県担当者・NPO推進青森会議より事業説明 町行政担当を交え、企画している事業について意見交換
6月中旬～	事業企画書の作成作業 事業要領の作成作業	町行政・NPO推進青森会議・コアメンバーで作業を開始
6月22日	事業説明会 (県庁南棟)	町行政と事業計画内容を協議 事業思索内容の発表
7月4日	商店会役員会 「わの市」出店者合同会議	事業要領(案)審議 予算書(案)審議
7月13日	商店会役員会	事業企画について協議 作業スケジュール確認 作業担当者の貼り付け
7月中旬～	各団体へ協力依頼 広報等の制作開始	各担当ごとに作業開始
7月30日	事業内容ヒアリング	県担当者・NPO推進青森会議・町行政・コアメンバーで協議
9月3日	商店会役員会	作業進捗状況確認
9月5日	「わの市」会場清掃	
9月29日	関係者全体会議	事業内容の最終確認 当日役割分担
10月3日	「わの市」会場清掃 会場レイアウトの確認	
10月13日～	会場設営	
10月16日	物販ブース設営 商品搬入 最終打ち合わせ	

## (2) 取組の趣旨

青い森鉄道利活用ビジョンのアクションプランの実践に向けた企画及び取組みを進める事業の一環として、小湊駅を起点とする駅前商店街や観光資源等の地域資源を活かした観光ツアーを実施することで、青い森鉄道線への誘客を図り、また、その実施過程を通じて、将来的な観光ビジネスに繋げるための住民、NPO、企業、行政等連携体制を構築し、地域におけるマイルール意識の醸成を図ることを目的とする。

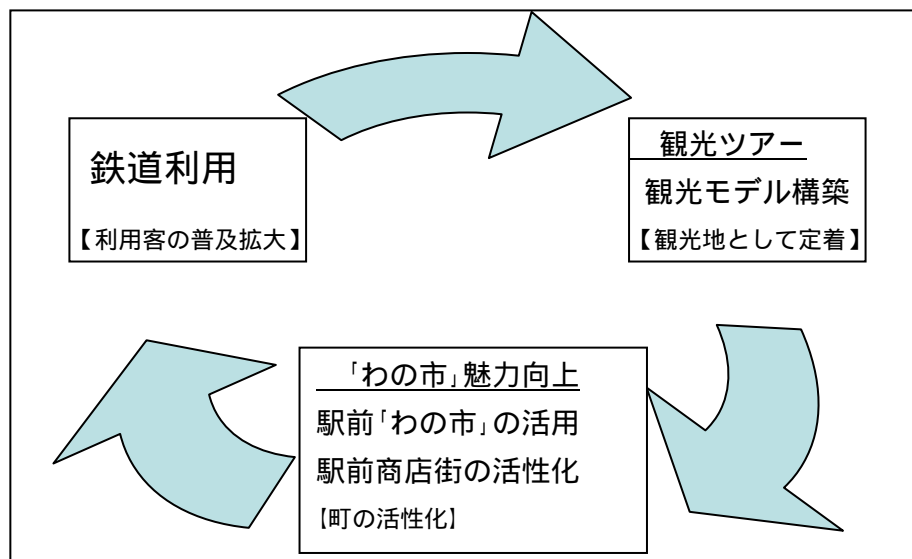
## (3) 取組のねらい

平内町は、豊富な地域資源に恵まれた県内有数の観光地であります。

次に、交通網については、鉄道沿線であることから青森駅からは、約30分程度で移動できる環境下にあります。

これは、観光事業を検討した場合の大きな強みであり、観光地としてブランド構築できた場合の経済効果は、非常に大きいものであります。

これらの強みを最大に活用し、鉄道を利用した観光モデルを想定し、小湊駅からの観光バスによる「名所めぐり」を行い、駅前「わの市」の活用・駅前商店街の活性化に繋がるように実施する。



#### (4) 取組の実施内容

鉄道を利用した観光客の誘客を想定し、観光バスツアーの実施と、駅前「わの市会場」を観光拠点広場とし活用し、本場のホタテ料理を堪能してもらいホタテの普及拡大を図るとともに、町自前のイベント企画をして楽しみながらお買い物ができる観光拠点としての機能を構築する。

##### 観光バスツアーの実施【観光モデル事業】

平内町には、数多くの観光名所がございます。

この度は、夏泊半島を一周して景観を楽しんで頂くとともに、町文化財審査委員長である 鬼柳恵照 氏をガイドとして依頼し、この半島に伝わる歴史並びに伝説などについてユーモアを交えてお話ししていただき更なる魅力創出を図る。

##### 観光拠点広場としての「わの市」の活用【観光による地域活性化事業】

駅前「わの市」を、鉄道利用者の観光拠点広場と位置づけし、地場産品である『ほたて料理』を堪能していただき普及拡大を図るとともに、世界的有名な高橋竹山の生誕地であることから、「津軽三味線生演奏」を楽しんで頂く。

また、地元事業者による出店を準備し、買い物を通じ地元住民との交流を図るとともに、現地ならではの土産品等の提供の場としての機能を創出する。

### 3 取組の実施状況

#### (1) 実施日時並びに開催場所

実施日時:平成 21 年 10 月 17 日(土) 天候:晴れ

10 時 30 分～16 時 30 分 「わの市」は、9 時から営業。

開催場所:小湊駅前「わの市」【メイン会場】

#### (2) 参加募集

チラシ並びにポスター配布

八戸駅・三沢駅・上北駅・乙供駅・野辺地駅・小湊駅・浅虫駅

道の駅 七戸・道の駅 上北・道の駅 浅虫・ホタテ広場

観光物産館 アスパム・野辺地町観光物産PRセンター

夜越山森林公園内・他、平内町内



〔チラシ A4 サイズ〕

← 表面

裏面 →

〔ポスター A2 サイズ〕

← 片面刷り

参加申し込み		
お名前	住 所	連絡先

FAX 017-755-3221  
平内町商工会内小湊商店会事務局

#### 情報誌へ掲載

グラフ青森 青森の暮らし 362 2009 年 9・10 月号

参考:発行部数 10,000 部



#### テレビ放送

10 月 5 日(月)10:00～ 『おしゃべりハウス』【ATV青森テレビ】

イベント告知放映



### (3)参加人数

参加者数:44名(募集人員:50名)

貸切大型バス1台を準備。

ガイドと添乗員(事務局)が乗車するため、限界人数であった。

### (4)実施概況

開催日当日は、天候に非常に恵まれ晴天の中での開催となった。

「わの市」は、平常どおり9時からの開催ではあるが、本事業と合同開催であるため、会場内には観光客受入れのための客席やイベント開催の為に音響設備などが設置され、期待と不安の中での営業となった。

9:30 過ぎに青森駅からの電車が到着するとツアー客が会場内に入場し始め、会長による歓迎挨拶の後、順次受付を行なった。

10:30 定刻どおり、バスに乗車し資料を配布後、バスの発車とともに観光ツアーを開始した。





【観光ルート】

10:30 わの市会場 (小湊駅側停車)	10:32 資料館前徐行	10:47 白鳥おじさん像徐行
11:00～11:15 椿山下車【15分間】 (ガイド所要時間10分)	11:20 大島Uターン	
11:50～12:15 サボテン公園【25分間】 (散策時間20分)	12:20 役場前通過	12:30 わの市会場

車中では、ガイド役の鬼柳先生の話で大いに盛り上がり、各箇所で徐行運転並びに停車しながら様々な歴史話や伝説話をユーモア交え話して戴き乗客は非常に興味深く聞き入っていた。計画では実質約二時間の予定であったが20分程オーバーした。内容については非常に濃く大好評であったと感じている。



12:50に「わの市会場」に到着し、「商工会女性部」によるホタテ料理のバイキングコーナーと「なかみち水産」による魚介類炭火焼きコーナーには列ができ、地元ならではのホタテ料理を楽しんで戴いた。



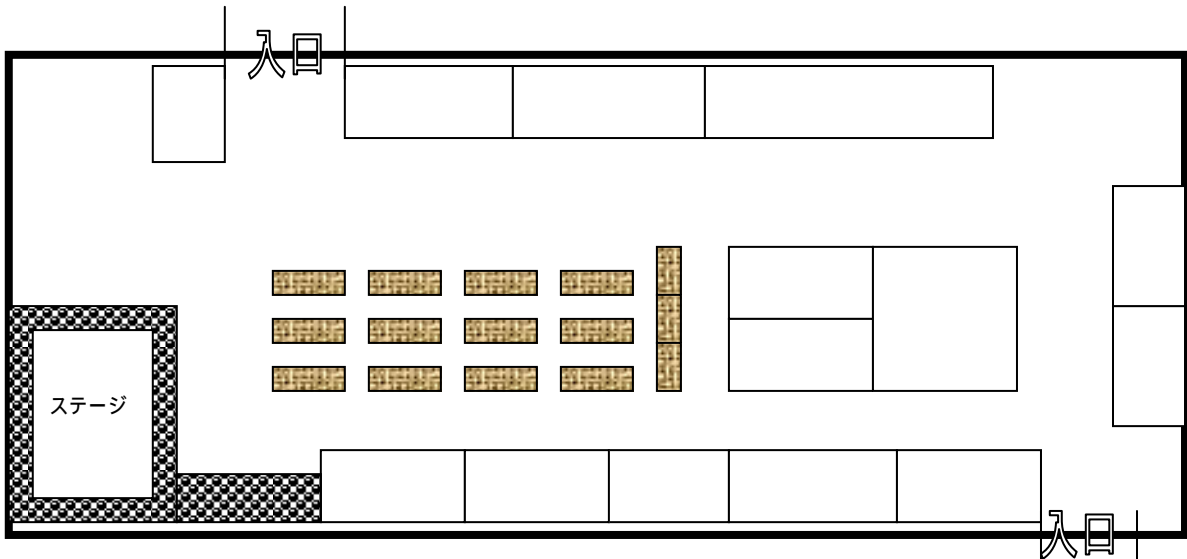
13:30からは、「竹伸会」による津軽三味線の演奏等があり、生の三味線ということもあり興味深く耳を澄ませ聞き入っていた。

引き続き14:00に「華彩」によるよさこい演舞が披露され、会場内を盛り上げた。14:40頃に全イベントが終了し、電車の時間まで会場の出店を見物し、土産品等を買物する姿が多く見受けられた。

天候にも恵まれ、予想以上に反響が良く我々商店会としても満足できる成果であり、活性化事業として今後もこれを改善し継続していきたいと一同確認し、本事業を終了した。



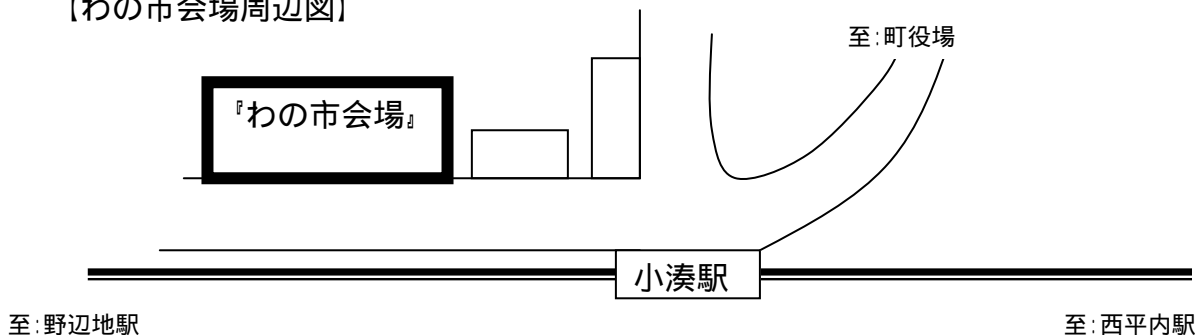
【わの市会場レイアウト】



出店事業所明細

事業所名	取扱い商品
夜越山森林公園	観葉植物等販売
なかみち水産	ほたて・活魚等販売
ドリンクバー	飲料販売
平内町商工会女性部	ホタテ料理バイキングコーナー
たてやま商店	乾物等販売
高橋靴店	靴・鞆等販売
ファッションパッケージ かわつま	衣料品等販売
総合衣料 なかた	衣料品等販売
おしゃれショップ 門林	衣料品等販売
三沢商店	靴・鞆・山菜等販売
S Bガーデン 田中	山野草等販売
カメラの八重樫	アルバム等販売
有限会社 アラコウ水産	ホタテ加工品等販売
総合福祉センター なつどまり	しいたけ等販売

【わの市会場周辺図】



#### 4 取組の検証

##### (1) アンケート調査の結果と分析

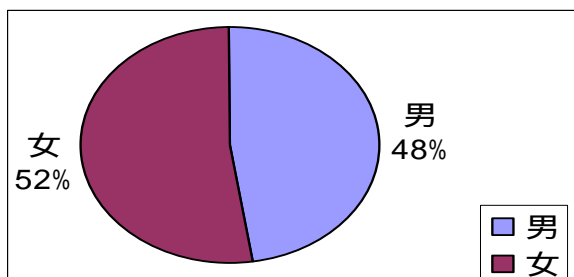
この度の事業内容について、参加者を対象としてアンケート調査を実施し、今後の事業活動の大切な意見として活用することを目的とし実施した。

観光ツアーバスに乗車時に各種資料と一緒にアンケート用紙を配布し、「わの市」会場内に回収箱を設置し回収を行なった。

44名の参加者全員に配布し、40名からの意見を回収することが出来た。

内容については、次のとおりとなった。

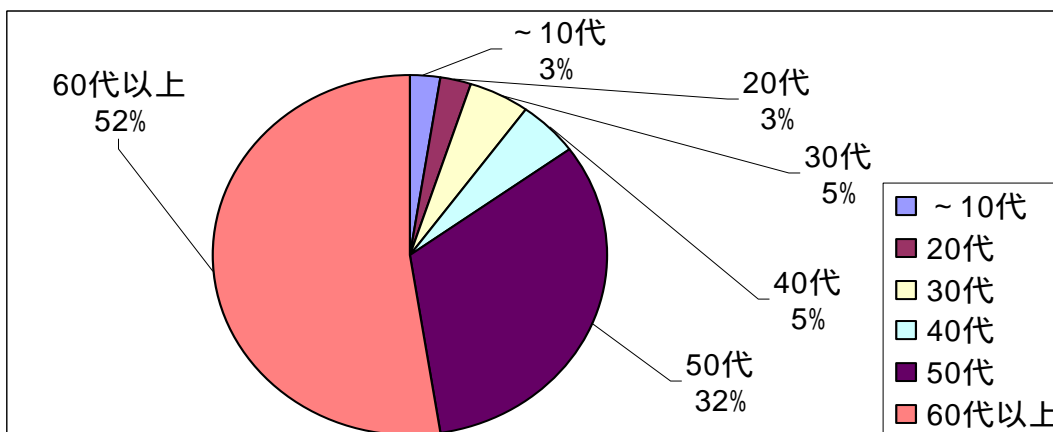
##### ・性別を教えてくださいか？



男・女ともに、大きな差はなかった。

	男	女	計
人数	19名	21名	40名
割合	48%	52%	100%

##### ・年齢を教えてくださいか？

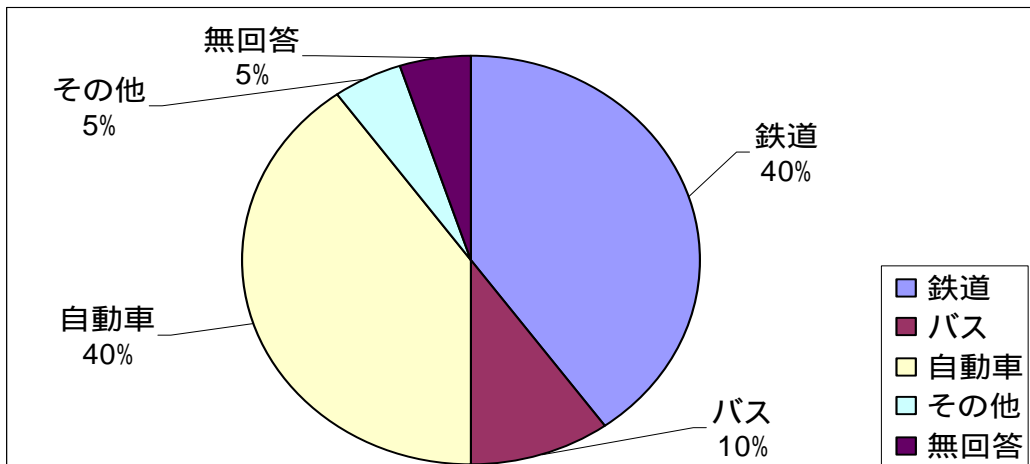


	~10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
人数	1名	1名	2名	2名	13名	21名	40名
割合	3%	3%	5%	5%	32%	52%	100%

50代・60代を併せると80%を超える結果となった。



．本日の交通手段を教えてくださいか？



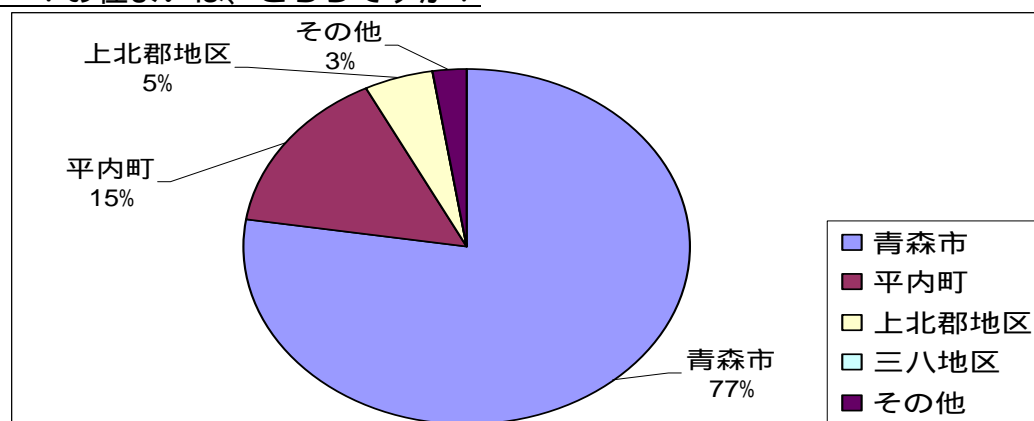
	鉄道	バス	自動車	その他	無回答	計
人数	16名	4名	16名	2名	2名	40名
割合	40%	10%	40%	5%	5%	100%

鉄道利用者が40%、自動車が40%であった。青森駅からの小湊駅に到着する列車で10:43頃着のがあり、その電車に合わせツアー開始にする必要があった。

参考:小湊駅通過時刻(快速)

青森行	7:21	8:03	8:44	10:19	<u>12:23</u>	14:15	<u>15:52</u>	16:30
野辺地行	7:39	8:32	<u>9:47</u>	10:43	12:28	14:25	<u>16:20</u>	16:37

．お住まいは、どちらですか？

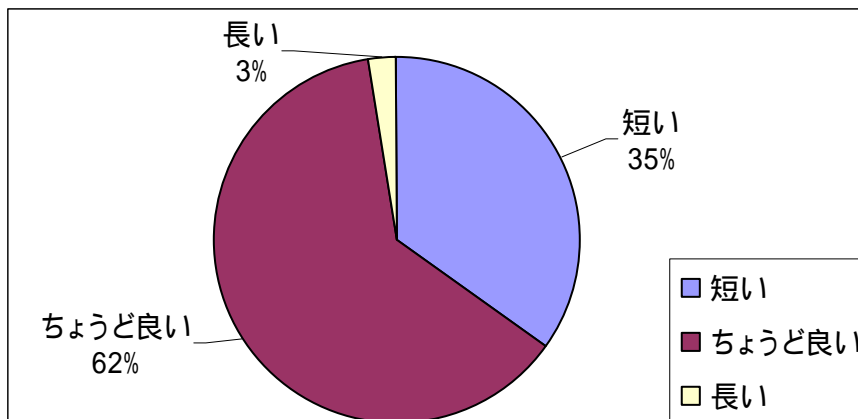


	青森市	平内町	上北郡地区	三八地区	その他	計
人数	31名	6名	2名	0名	1名	40名
割合	77%	15%	5%	0%	3%	100%

その他1名は、むつ市であった。

町外からの観光客誘客という目的は、達成できたと感じている。但し、一般公募の他、会員事業所による呼びかけは行なっております。

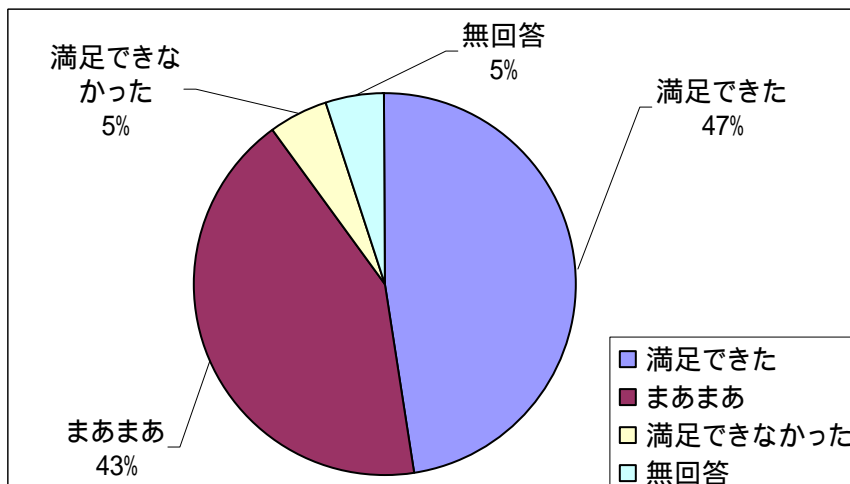
- ・この度の観光内容について
- ア．観光所要時間について



	短い	ちょうど良い	長い	計
人数	14名	25名	1名	40名
割合	35%	62%	3%	100%

意見として、5時間ぐらい（バイクも若干入れたコース）  
「ちょうど良い」が62%であったが、「短い」が35%、「長い」が3%  
となり、次回は若干の改善が必要と感じた結果となった。

- イ．観光内容について



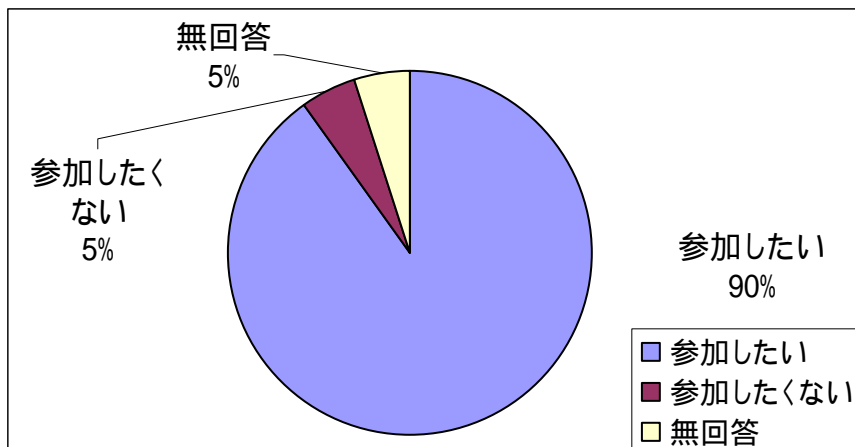
	満足できた	まあまあ	満足できなかった	無回答	計
人数	19名	17名	2名	2名	40名
割合	47%	43%	5%	5%	100%

「満足できた」と「まあまあ」を併せると90%となり、観光PR事業として、実りのある結果となった。



- ウ . 平内町には、他にも数多くの名所があります。

次回別ルートの名所めぐりを開催した場合、参加を希望しますか？



	参加したい	参加したくない	無回答	計
人数	36名	2名	2名	40名
割合	90%	5%	5%	100%

「参加したい」が90%であり、継続的に実施し定着させたい。

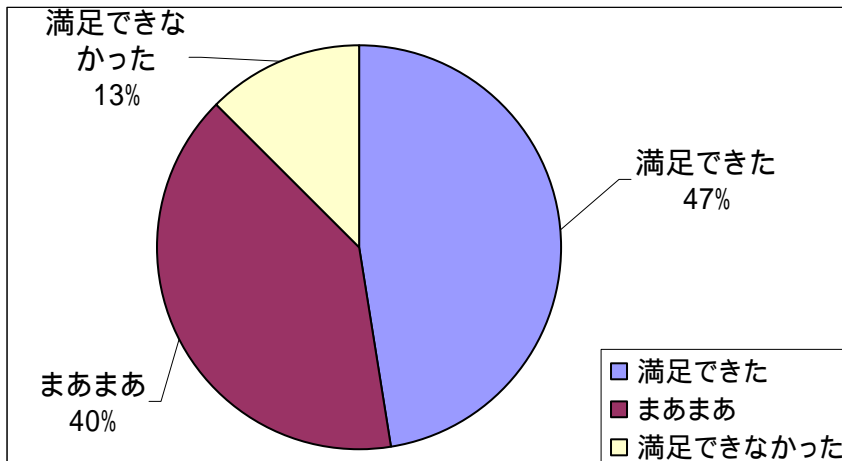


- オ . 観光内容について、感想・要望がございましたらお書き下さい。

- ・天気がよく、海がきれいで楽しい一日でした。
- ・とても良かった。(2)
- ・今回この企画に参加させて頂きありがとうございました。
- ・大変たのしく、勉強になりました
- ・天気も良く、たいへんよかった。
- ・小さい時まで過ごした所ですが、改めて良い所だと思いました。
- ・鬼柳先生の津軽弁でのご案内がとても楽しかったです。
- ・鬼柳先生のお話は、大変興味深く聞きました。良かったです。(2)
- ・歴史の案内が大変良かった。
- ・平内の歴史にも触れることができ、勉強になりました。
- ・平内町がこれほど歴史があり、多くの物語があったことは知らなかった。
- ・初めて平内町の歴史を知り大変参考になりました。
- ・大変楽しく、また平内の歴史もわかりとても楽しかったです。
- ・昔のこと昔々のことがわかった。
  
- ・もっと所々の名所でバスを降りて、歩いて見物したかった。
- ・バスに乗っている時間が多く、散策できるような時間が欲しかった。
- ・もう少し見学の時間がほしい。
- ・10時集合にして、大島で下車して観光したかった。
- ・もう少し長く時間を取って見学させてほしい。
- ・サポテン公園でお金を出して見学するなら、もう少し時間がほしかった。
- ・観光には夜越山公園を中心とした時間の取り方
- ・博物館か何かありましたら、取り入れていただきたいと思います。
- ・資料館も見たい
  
- ・サービスの食べ物が1個くらいあってもよかったと思う。
- ・年齢を上に設定しすぎて、楽しめなかった。
- ・夏泊半島一周を売りにしていたので参加したが、話が違う。
- ・列車時間の説明・時刻表とかを用意する等は配慮がほしい
  
- ・沢山観光地があるようなので、バスコースをつくる。
- ・観光地の紹介・PRをもっと「力」を入れる。
- ・観光のポイントの資料でもあると良いと感じた。(観光マップ的なもの)

・「わの市」について

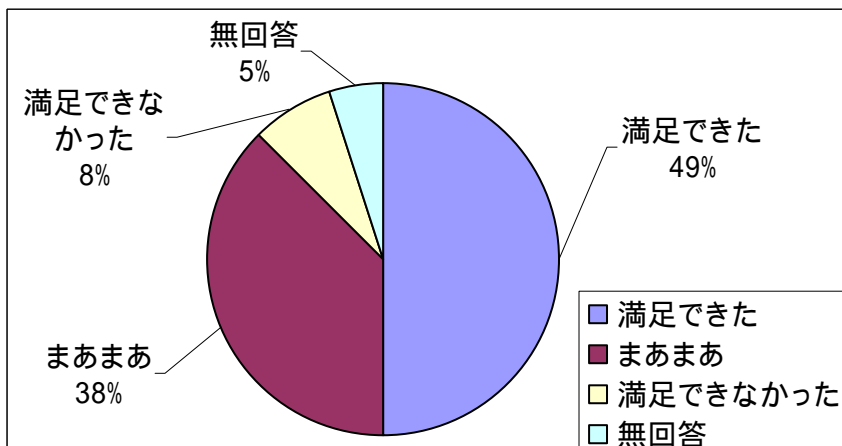
- ア. 「わの市」は、毎月第一・第三土曜日に商店会各店舗が一同に集まり開催している「市」です。楽しめましたか？



	満足できた	まあまあ	満足できなかった	計
人数	19名	16名	5名	40名
割合	47%	40%	13%	100%

「満足できた」が47%とあり、「まあまあ」と併せて87%であった。

- イ. 会場内で、地場産品「ほたて」をメインとした出店を準備いたしましたが、いかがでしたか？



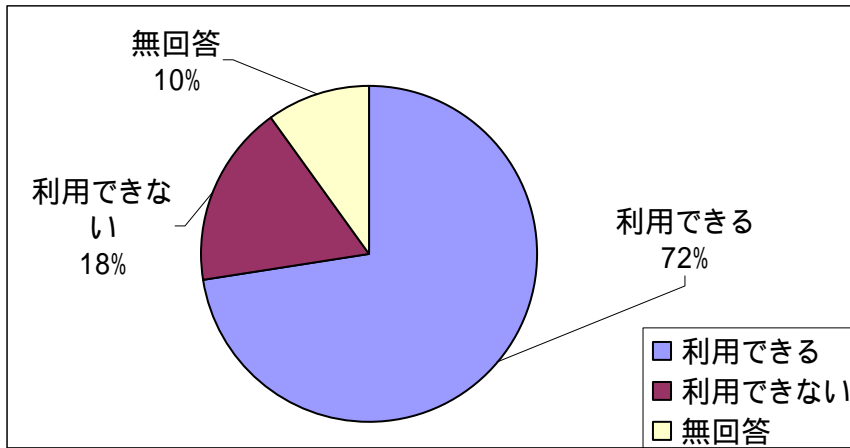
	満足できた	まあまあ	満足できなかった	無回答	計
人数	20名	15名	3名	2名	40名
割合	49%	38%	8%	5%	100%

「満足できた」が49%とあり、「まあまあ」と併せて87%であった。

当初お弁当を検討していたが、バイキング形式の出店にした。

混雑はしたが、観光客と良い交流が出来た。

- ウ . 駅前の「わの市」会場を、鉄道利用者の観光拠点広場として使用する  
 としたら、利用は可能だと思いますか？



	利用できる	利用できない	無回答	計
人数	29名	7名	4名	40名
割合	72%	18%	10%	100%

「利用できる」が72%あった。

小湊駅からすぐ近くという立地条件にも恵まれている。

旧製材所の建物で、雨漏れなど状況は厳しいが、鉄道利用者の観光拠点広場として活用し、定着させていきたい。

[意見]

もう少し整備が必要かも（暖房等）

今回のツアーまで「わの市」を知らなかった。もっと宣伝した方がいいと思う。

今のままでは、利用できない。



- 才 . この度の事業全体について、感想・要望がございましたら  
お書き下さい。

- ・たいへん楽しかったです。(3)
- ・楽しい企画ありがとうございました。
- ・大成功である。特に、バス車内での案内素晴らしい。
  
- ・次回もぜひ参加したいと思います。
- ・続けて下さい。
- ・私は初めてでしたが、若し又ある時はお願いしたい。
  
- ・参加費無料ということはありがたいですが、200 円～500 円位とってもよいのではないで  
しょうか？
- ・参加者を本日の倍位にできたら、もっと活気がでると思いますが、そのための工夫も  
必要かと思えます。
- ・JR利用したかったが時間が合わず、できませんでした。  
(時間都合上難しかったと思えますが)
- ・JR車内でのポスターなどによるPRが必要ではないか？
- ・子供達も楽しめる企画があると良いと思えます。
  
- ・観光の時間をもっと多くとって、平内の自然・その他・今回のお話で出てきた名所などを  
PRしてほしい。
- ・無料のツアーなので文句は言えないが、平内の名所・旧跡等観光を主体にした方が  
良かったと思う。
- ・夏泊半島のおおよその地図をプリントに加えてほしい。
- ・小湊駅と夜越山公園とのシャトルバス
  
- ・「わの市」の雰囲気がない。魚介類の販売がもっと多くてもいいのでは...
- ・「わの市」の充実(出店数・地元農産物)を望む。
- ・「わの市」がマンネリ化しているのでは？
- ・出店が少ない。
- ・各商店の陳列方法(雑すぎる、商品も幼稚すぎる)
- ・他の道の駅や朝市をもっと参考にした方が良いと思う。
- ・いつも列車に乗っているが、見たことがない。
  
- ・見学したところ、ゴミが多かった。



## アンケート用紙

2009.10.17 SATURDAY

### 青森のへそ「ひらない」めぐり

アンケートご協力へのお願い  
 平内町へお越し下さりまして、誠にありがとうございます。スタッフ一同お礼申し上げます。  
 今後の事業活動の大切なご意見として活用して参りたいと思っておりますので宜しくお願いします。

アンケート用紙

①. 性別を教えてください。 男 ・ 女

②. 年齢を教えてください。 ~10代・20代・30代・40代・50代・60代以上

③. 本日の交通手段を教えてください。 鉄道・バス・自動車・他( )

④. お住まいは、どちらですか? 青森市・平内町・上北部地区・三八地区・他( )

⑤. この夜の観光内容について

ア. 観光所要時間について 短い・ちょうど良い・長い

イ. 観光内容について 満足できた・まあまあ・満足できなかった

ウ. 平内町には、他にも数多くの名所があります。  
 次回、別ルートの名所めぐりを開催した場合、参加を希望しますか?  
 参加したい・参加したくない

オ. 観光内容について、感想・要望がございましたらお書き下さい。

⑥. 「わの市」について

ア. 「わの市」は、毎月第一・第三土曜日に商店会各店舗が一泊に集まり開催している「市」です。  
 楽しめましたか?  
 満足できた・まあまあ・満足できなかった

イ. 会場内で、地場産品「はたて」をメインにした出店を準備いたしましたが、いかがでしたか?  
 満足できた・まあまあ・満足できなかった

ウ. 駅前の「わの市」会場を、鉄道利用者の観光拠点広場として使用するとしたら、  
 利用は可能だと思いますか?  
 利用できる・利用できない

オ. この夜の事業全体について、感想・要望がございましたらお書き下さい。

~ご協力、ありがとうございました~

## サボテン公園入場券





## 5 取組の検証を踏まえた展開

参加者を対象としたアンケート調査をしたことにより、外部目線からの現状分析を行えたことは、大きな収穫となりました。

この度ターゲットとした客層は、鉄道を利用するということで、日頃鉄道に乗車する機会があまり無い家族連れや、お孫さんを連れた世代ではないのかなと思っておりました。

しかし結果は、ご年配の夫婦や気の和らぐ仲間同士での参加が大多数でありました。改めてツアー日程を確認したところ、落ち着いた観光内容でありステージイベントについても「津軽三味線」がうたわれており状況が理解できました。

観光事業の調査結果については、非常に好評であり継続して実施することで観光地としての定着を図れればと祈願しております。誘客のターゲットは、数年は本年同様にご年配の夫婦などを対象とした事業内容で検討したいと考えております。

「わの市」については、観光拠点広場としての活用できそうな結果となりましたので、この度お寄せ頂いた貴重な意見を真摯に受け止め改善していく所存であります。

今回の大きな反省として、お客様目線での気遣いに欠けたことが一番大きな失敗でありました。我々としては、十二分に注意を払い計画したと自負してありま



したが、鉄道の時刻に合わせて時間設定が出来ず、十数分の配慮の無さで鉄道利用者が減少した結果となりました。その他反省点は多数ありますが、失敗を成功に変換し前進してまいりたいと思います。

本年度は、すべてが初めての経験であり暗中模索しながらの事業となり各団体等との連携までは図れる状態ではありませんでした。もし、【観光モデル事業】の部分について関係団体との連携が図れれば、もっと完成度の高い内容で実施出来たものと思っております。同様に、我々が【観光による地域活性化事業】に集中し計画できていれば、より参加者を楽しませることが出来たのではないかと感じております。

今後は、各関係団体と連携を図り、各機関の蓄積しているノウハウを最大に活用し、より完成度の高い内容に改善しながら本事業を定着させたいと思っております。

そして将来的には、「民間バス会社等」に【平内町観光バスツアー】をパッケージ商品として取り扱いしてもらえるように協議し、更なる観光客の集客を図ってきたいです。

利便性の良い鉄道を交通アクセスの誘客ツールとして最大限に活用し、観光事業をとおり地域の活性化につなげていきたいと思っております。



## 6 終わりに

今回の事業「平内 青森の『へそめぐり』～まるごと平内～」につきましては、各関係団体様をはじめ各企業・個人の皆様に支えられまして、晴天のなか多数の参加者により盛大に実施することが出来ましたこと、心より厚くお礼申し上げます。

さて、当初からの目的として 鉄道を利用した 観光モデル事業 観光による地域活性化事業 の2つの狙いがありました。

まず、観光モデル事業 については、非常に反響が良かったと実感しております。今後は更なる観光ルートの構築を行い、より多くの観光客を呼び込み、観光の町「平内町」として認知されるよう邁進してまいります。

次に、観光による地域活性化事業 として、鉄道利用者をターゲットとした「わの市」の観光拠点広場としての活用ですが、駅から直近くという立地条件、更にはイベントステージ完備など環境に恵まれていることが検証できました。

そして、地元特産品である「ホタテ」を堪能できるように設置した「ホタテ料理バイキング」についてはとても評判が良く、我々としても大きな成果でありました。

しかしながら、出店の充実、施設老朽化による整備など課題は山積みであります。これらの課題をひとつひとつ改善し、より多くの観光客に喜んで貰えるよう体制を整えたいと思います。

最後に、我々としても鉄道の利便性を実感できたとともに、更にはこれを戦略的に活用し観光事業を展開できると実証できましたことは、非常に大きな成果でありました。今後も、継続的に鉄道利用者を巻き込んだ事業を展開し、鉄道と共に地域活性化を図ってまいりたいと思います。

## パスポート

